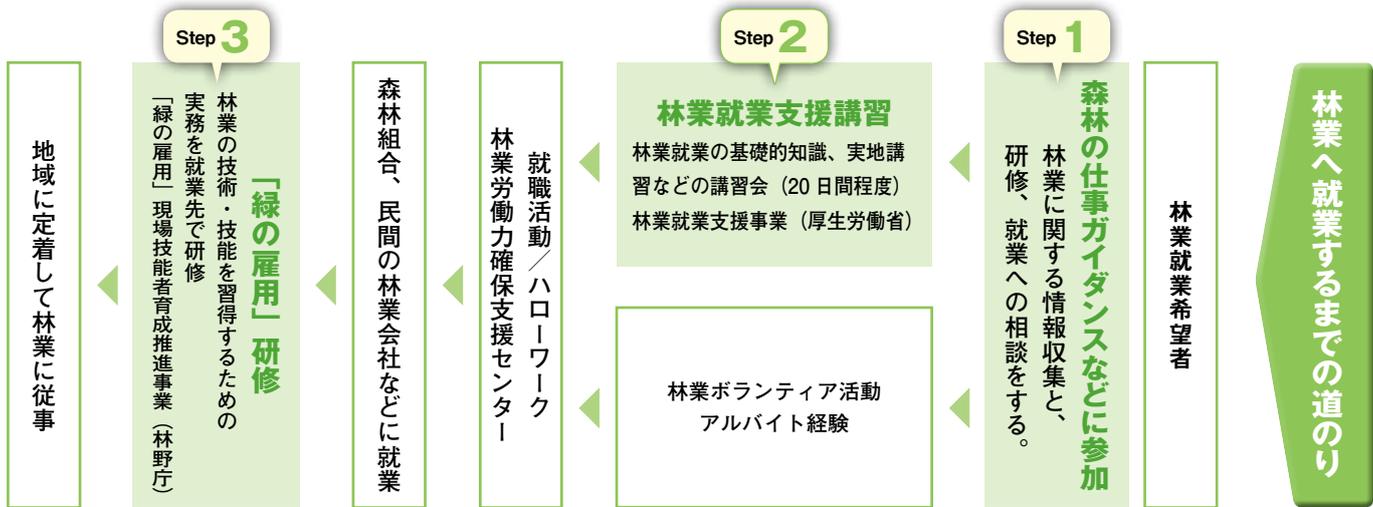




もり 森林の仕事 ガイダンス2017

2月4日(土)、東京国際フォーラムで森林・林業に関心を持つ人を対象とした林業の仕事内容、生活・暮らしなどを紹介する就業相談会「森林の仕事ガイダンス2017」が開催されました。



森林の仕事ガイダンスは、「緑の雇用」現場技能者育成推進事業の実施主体である全国森林組合連合会が、新たな林業の担い手の確保・育成の取組として行っている就業相談会。「緑の雇用」事業を通して、平成15年度から平成27年までの13年間に約1万6千人が新たに林業に就業しています。

今年度は東京・大阪・名古屋の3都市で開催されました。会場では、各地の林業に関する情報や林業作業の内容や就業までの流れについての説明や相談が行われたほか、ハローワークの協力によって幅広い就業情報の提供が行われました。

主催者から



全国森林組合連合会
担い手・雇用対策部
部長 菊地 英晃さん

今回、東京会場は1,108人、大阪会場は593人、名古屋会場は256人から相談がありました。

毎年、このガイダンスには、学生の方や林業への転職を検討している方、定年後の第二の仕事に林業を検討している方が多く来場されますが、今年は例年にも増して年齢層が若く、女性の方が多いと感じました。

また、最近では事前にチェーンソーや刈り払い機の講習を受講した資格取得者や各県の林業大学の学生も増えています。現在、林業における従事者数は50,000人ほどで下げ止まりといわれていますが、このように林業を本気で目指す方が増えていることを嬉しく感じます。

このガイダンスでは、できるだけ現場の生の声を聞いて林業に対する理解を深めてほしいという思いから、実際に現場で働く緑の研修生との交流ブースやトークショーを設けています。

ぜひ、こうしたガイダンスを通じて、若い方をはじめとする多くの方に林業の魅力を知っていただき、就業を考えるきっかけにさせていただければと思います。



■全国森林組合連合会相談ブース

林業の基礎から林業に就業するための方法、就業後の仕事内容など、林業に関する総合的な相談が行われました。

【参加者の声・17歳女性】

森林関係の大学に進学し、その後の就職先に林業を視野に入れたいと思い、今回相談に来ました。各地で木の種類や活用の仕方、課題が異なるということを知り、さらに森林への興味がわきました。



■都道府県相談ブース

各都道府県の担当者が、各地域の林業の特色や求人情報の提供、移住に関する相談に応じました。

【参加者の声・28歳男性】

現在、林業は経済的に厳しいといわれていますが、将来のビジョンなどの話を聞くことができ、自分が林業の世界で何をしたいかを考える良いきっかけになりました。



■ステージイベント 「緑の研修生トークショー」

トークショーでは、実際に現場で働く研修生が仕事の内容や生活・暮らしについて語りました。

【参加者の声・25歳女性】

林業は男性のイメージでしたが、女性もいきいきと働ける仕事だと知り、挑戦する勇気が持てました。



■緑の研修生交流ブース

「緑の雇用」事業の研修生たちが、林業への就業やその後の生活などの質問に、実体験を基に答えました。

【参加者の声・25歳男性】

最初は林業に対して大変そうなイメージを持っていましたが、自分と同じ年齢の研修生が毎日楽しく働いていると聞き、林業への興味が深まりました。

森林の仕事ガイダンス2017



緑の研修生の大西 紗椰さん（左）、
瀬野 航さん（中央）、土田 瑞恵さん（右）

■緑の研修生

大西さん「温かい人に囲まれ、四季の変化を感じながら作業する毎日は、とても充実しています。話だけでは伝わらないこともあるので、山に来て自分の目で作業を見てください。」

瀬野さん「機械での作業は難しいですが、先輩が丁寧に教えてくれるので必ずできるようになります。興味を持っているなら、勇気を出して林業の世界に飛び込んでください。」

土田さん「技術を習得するのは時間がかかりますが、奥が深くやりがいも大きいのが林業。今は機械化も進み、性別関係なく働けるので、ぜひ女性の方も挑戦してほしいです。」

森林の仕事ガイダンスおよび緑の雇用についての詳細は、
「緑の雇用」ウェブサイト RINGYOU.NET をご覧ください。

<http://www.ringyou.net/>